

しろいしここから通信!

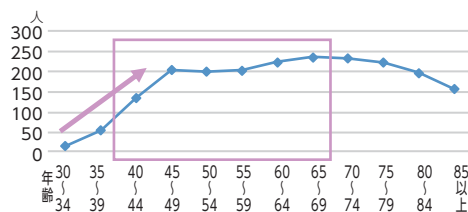
第22回 乳がんについて

乳がんにかかる人は年々増加しています。

年齢別では30歳代後半から増加し、40歳以上の女性では最も罹患する人が多いがんです。

女性のがん罹患数	1位	2位	3位
	乳がん	大腸がん	肺がん

年齢階級別罹患率（乳房2020年人口10万人対）



全国がん登録 罹患数・率報告2020より

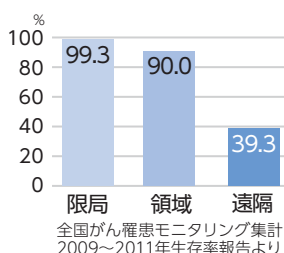


女性では乳がんが一番多いんだ！ もしも乳がんになったら心配だな…

早期発見すれば高い確率で治療できます

がんは、早期に発見すれば高い確率で治療できます。一般的に、早期の段階では自覚症状がないので、無症状の時に発見することが重要です。

乳がんの進行度別5年相対生存率



限局：がんが発生した臓器だけで増殖している段階

領域：がんが周りの臓器やリンパ節に広がっている段階

遠隔：がんが遠く離れた臓器まで広がっている段階

早期発見のためにできること

①自己触診(セルフチェック)

毎月、月経が終わり乳房のはりがおさまった頃(3～5日後位)、閉経後の人は月に一度チェックしましょう。鏡に向かい、乳房や乳頭に変形がないか観察します。

次に乳房の中にしこりがないか調べます。親指を除く3～4本の指を乳房にあて、「の」の字を書くように動かして、調べます。乳頭からの分泌物が、病気発見のきっかけになることもあります。

乳頭からわきの下にかけての部位が、最もがんがしやすいところです。特に注意して調べましょう。

●気を付けてほしい症状● 症状があれば検診を待たずにすぐに受診してください。

- ・乳房にしこりがある
- ・乳房にひきつれ、くぼみがある
- ・乳腺疾患にかかったことがある
- ・乳房を押すと、乳首から分泌液が出る
- ・わきの下にしこりがある
- ・乳首や乳輪にただれや変形がみられる

②定期的な乳がん検診(2年に1回)

早期がんで発見するためには定期的ながん検診を受けることが大切です。乳がん検診では、マンモグラフィ検査や超音波検査(エコー検査)が有効です。町ではマンモグラフィによる乳がん検診を実施しています。

また、要精密と判定された場合は、早期発見できる可能性があるため、必ず精密検査を受けましょう。



早期発見が大事なんだね！ 自己触診や検診で身体のサインを見逃さないようにしようね。



問 保健福祉課 健康づくり係 ☎0952-84-7116